

「地方卸売市場管理棟機械室」他2施設の asbestos 飛散調査結果及び今後の対応について

11月17日(月)にお知らせいたしました asbestos の含有が確認された市公共施設の残りの3施設につきましても、11月18日(火)に asbestos 飛散(大気濃度)調査を行った結果、3施設全てにおいてその安全性が確認されましたので、その結果を報告するとともに、今後の対応についてお知らせいたします。

1. asbestos 飛散(大気濃度)調査結果について

測定箇所	(単位: f/L)
地方卸売市場	0. 1本未満(1 $\frac{1}{10}$ あたり)
労働会館	0. 1本未満(1 $\frac{1}{10}$ あたり)
高谷小学校屋内運動場	0. 1本未満(1 $\frac{1}{10}$ あたり)

上記の結果は、世界保健機関(WHO)における国際的な基準、大気汚染防止法等の国内法に基づく基準、いずれの基準に照らし合わせても、3施設全てにおいて安全性は確認されていると判断しています。

【参考】

国際的な基準

※ WHO環境保健クライテリア(EHC53):「都市における大気中の石綿濃度は、一般に1本以下~10本(1 $\frac{1}{10}$ あたり)であり、それを上回る場合もある。」「一般環境においては、一般住民への石綿ばく露による中皮腫及び肺がんのリスクは、検出できないほど低い。すなわち、実質的には、石綿のリスクはない。」

国内法に基づく基準

※ 大気汚染防止法に基づく石綿製品製造工場に対する敷地境界基準: 10本(1 $\frac{1}{10}$ あたり)

2. 今後の対応について

3施設全てにおいてその安全性は確認されましたが、これまでと同様に基本的に改修時等に併せ除去をしております。除去工事までの間は定期的な飛散調査を実施し、十分な監視を続けてまいります。それぞれの施設ごとの具体的な対応については、今後「asbestos 問題対策会議」において決定してまいります。

いずれにいたしましても、市民の皆様の安心・安全なまちづくりを推進するとの観点にたち、今後とも万全の対応を図ってまいります。